

沖縄平和行進に参加して

全港湾関東地本
東京支部
東海運浦安分会
高橋龍輝

私は5月15日に行われました、沖縄平和行進に初めて参加させて頂きました。

嘉手納基地コースを大勢の仲間と歩き基地問題は沖縄だけでなく、日本全体の大きな課題だと再認識させられるものでした。

行進中に2機の戦闘機が、頭上を通過した時の轟音は恐ろしいものでした。そのような問題が子供達の学習の妨げやPTSDをわずらっている方々の治療の妨げになっていると言う現状を知ることが出来ました。

また、ひめゆり平和祈念資料館や平和祈念公園内にある平和の礎を見て沖縄戦の悲惨さと平和の尊さ命の大切さを実感しました。

懇親会の時に2日間の感想を1人ずつ話しているのを聞いている中で「沖縄戦はまだ続いている」その言葉に愕然とさせられました。不発弾処理に半世紀以上かかり、沖縄戦末期に米軍に追い詰められ摩文仁の丘、喜屋武岬、荒崎海岸から身を投げ自害された方の骨を回収するのも、未だに年に一度行われて、回収し切るのにまだかなりの時間がかかる。その話を聞いて戦争は決して行ってはいけないことだと強く感じました。

今回の経験を通して、戦争を繰り返さず平和を守り続ける大切さや戦争の悲惨さむごさと言うものを周りに広めていかなければならないと思いそれを行動に移していこうと思う3日間でした。

又対応して頂きました沖縄地本の方々、青年部の方々ありがとうございました。